

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>3.0</b>
<b>1 音環境</b>				<b>3.3</b>	0.15	-	-	<b>3.3</b>
<b>1.1 騒音</b>				<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-	
2 設備騒音対策				-	-	-	-	
<b>1.2 遮音</b>				<b>3.4</b>	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能				<b>3.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	-	
2 界壁遮音性能		遮音性能: TLD50の壁間仕切り S12-W1(壁厚125)を採用		<b>4.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	
<b>1.3 吸音</b>		天井:岩綿吸音板/床:タイルカーペット		<b>4.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-	
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.1</b>	0.35	-	-	<b>2.1</b>
<b>2.1 室温制御</b>				<b>2.5</b>	0.50	-	-	
1 室温				<b>3.0</b>	0.38	<b>3.0</b>	-	
2 負荷変動・追従制御性				-	-	-	-	
3 外皮性能		外壁:耐火断熱鋼板パネル t=50 U=0.8W/m <sup>2</sup> K 窓:熱線吸収ガラス SC=0.92、U=5.9W/m <sup>2</sup> K		<b>4.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	-	
4 ゾーン別制御性				<b>1.0</b>	0.38	-	-	
5 温度・湿度制御				-	-	-	-	
6 個別制御				-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-	
8 監視システム				-	-	-	-	
<b>2.2 湿度制御</b>				<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-	
<b>2.3 空調方式</b>				<b>1.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-	
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.0</b>	0.25	-	-	<b>3.0</b>
<b>3.1 昼光利用</b>				<b>2.4</b>	0.30	-	-	
1 昼光率				<b>2.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	-	
2 方位別開口				-	-	<b>3.0</b>	-	
3 昼光利用設備				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	-	
<b>3.2 グレア対策</b>				<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 照明器具のグレア				-	-	-	-	
2 昼光制御				<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-	
3 映り込み対策				-	-	-	-	
<b>3.3 照度</b>				<b>1.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	-	
<b>3.4 照明制御</b>		面積区画ごとに照明制御 リモコン調節可		<b>5.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	-	
<b>4 空気質環境</b>				<b>4.0</b>	0.25	-	-	<b>4.0</b>
<b>4.1 発生源対策</b>				<b>4.0</b>	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		F の建材をほぼ全面的に採用		<b>4.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-	
2 アスベスト対策				-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等				-	-	-	-	
4 レジオネラ対策				-	-	-	-	
<b>4.2 換気</b>				<b>3.3</b>	0.30	-	-	
1 換気量				<b>3.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-	
2 自然換気性能				<b>3.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-	
3 取り入れ外気への配慮		空気取入口は大通りを避け北に配し、各種排気口と6m以上離す		<b>4.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-	
4 給気計画				-	-	-	-	
<b>4.3 運用管理</b>				<b>5.0</b>	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視				-	-	-	-	
2 喫煙の制御		区画され負圧に保たれた喫煙室の設置(第三種換気)		<b>5.0</b>	1.00	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-	<b>4.2</b>
<b>1 機能性</b>				<b>4.5</b>	0.40	-	-	<b>4.5</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>				<b>4.3</b>	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		1人当たりの執務スペース12㎡以上		<b>5.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-	
2 高度情報通信設備対応		コンセント容量 40VA/㎡		<b>4.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-	
3 バリアフリー計画		バリアフリー-新法の望ましいレベルで、エンタンス段差なし		<b>4.0</b>	0.33	-	-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>				<b>5.0</b>	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		CH=2900mm		<b>5.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-	
2 リフレッシュスペース		休憩室・自動販売機の設置		<b>5.0</b>	0.33	-	-	
3 内装計画		インテリアの作成、BIMの利用		<b>5.0</b>	0.33	-	-	
<b>1.3 維持管理</b>				<b>4.5</b>	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		外壁:フッ素樹脂メタリック塗装/内装床:ホモニアス系ビニル床タイル等		<b>5.0</b>	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		専用の清掃用流しの設置		<b>4.0</b>	0.50	-	-	
3 衛生管理業務				-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.6</b>	0.31	-	-	<b>3.6</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>				<b>3.4</b>	0.48	-	-	
1 耐震性				<b>3.0</b>	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		免震装置の導入		<b>5.0</b>	0.20	-	-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>				<b>4.1</b>	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		劣化対策等級3相当 コンクリートFc=30N/mm <sup>2</sup> 耐用年数100年		<b>5.0</b>	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		耐火断熱ガルバリウム鋼板パネル(フッ素樹脂塗装)		<b>5.0</b>	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		事務室:床タイルカーペット(OAフロアH100) 壁:ビニルクロス(PB12.5) 天井:岩綿吸音板t=9(PB12.5)		<b>5.0</b>	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		厨房ダクト、外部のダクトはガルバニウムとしている		<b>4.0</b>	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.23	-	-	

2.4 信頼性			3.6	0.19	-	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	-
2	給排水・衛生設備	節水器具を使用し、上水/洗浄水を系統分けて井水利用をしている	4.0	0.20	-	-	-
3	電気設備	非常用発電機設置 受電設備の二重化	4.0	0.20	-	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-
5	通信・情報設備	通信手段は光ケーブル(LAN・インターネット)、携帯電話網等多様化する	4.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性			4.2	0.29	-	-	4.2
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31	-	-	-
1	階高のゆとり	階高6600	5.0	0.60	3.0	-	-
2	空間の形状・自由さ	壁長さ率=0.036	5.0	0.40	3.0	-	-
3.2 荷重のゆとり		倉庫 15000N/m <sup>2</sup>	5.0	0.31	3.0	-	-
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	-
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40	-	-	3.9
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		広告物は道路からのみ見えるよう配置し、大きさにも配慮する。周辺建物と高さを低く揃えることで、視点場(相模川・周辺駅)から、ほぼ認識できない程度とする。東側道路に桜並木の緑道を設け、周辺と連続性を持たせながら地域の方々の憩いの場とする。	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上		可能な限り緑地を確保する 設備機器は屋上等高い位置へ配す	4.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.1
1 建物の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.5	0.29	-	-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光利用	4.0	0.50	-	-	-
3 設備システムの高効率化		ERR=53%	5.0	0.43	-	-	5.0
集合住宅以外の評価( ERRによる評価)		ERR=53%	5.0	-	-	-	-
集合住宅の評価			-	-	-	-	-
4 効率的運用			3.5	0.29	-	-	3.5
4.1	モニタリング	倉庫内空調もしくはマテハンの電気量モニタリング	4.0	0.50	-	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.8
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.6	0.60	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無	雨水・井水の中水利用	4.0	0.67	-	-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			4.0	0.63	-	-	4.0
2.1	材料使用量の削減	Fc=60N/mm <sup>2</sup> 、F=235N/mm <sup>2</sup> 、Pca及びPSの採用	5.0	0.07	-	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.21	-	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生砕石を路盤材利用。P-テイルボードをOAフロア下地に利用。断熱材を事務室外壁面に利用。	5.0	0.21	-	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材、配管・配線類は躯体打込みをしていない	5.0	0.25	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用		接着剤(ビニル床タイル、壁紙)、シーリング材、防水材料	5.0	0.32	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68	-	-	-
1	消火剤		-	-	-	-	-
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	-
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		LCCO:排出量=73%	4.0	0.33	-	-	4.0
2 地域環境への配慮			3.6	0.33	-	-	3.6
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善		地表面対策面積56.78%、隣棟間隔指標1.7、見付面積比56.2%	4.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25	-	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
3	交通負荷抑制	駐輪場・駐車場の確保、荷捌き駐車スペースの確保、渋滞緩和対策として待機スペースを確保	5.0	0.25	-	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制	ゴミ保管庫の設置、及び定期的な廃棄物回収	4.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
1	騒音		3.0	1.00	-	-	-
2	振動		-	-	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-	-
3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	-
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	-
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-